

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 12月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200275
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホームこくぶ太陽の家
所在地	鹿児島県霧島市国分中央一丁目24番地24号 0995-48-7320
自己評価作成日	平成25年11月13日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年11月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

まちかど介護相談所の看板を掲げ地域の方々の相談役として、少し役に立たせて頂きます。
又地域ひろば事業所として、地域の方々との交流の場を設けて活動させて頂きます。
入居者様には1人1人に合った対応、不安な思いされる事の無い様に傾聴に努めます。

グループホームこくぶ太陽の家は近くに大型スーパーや商店街、少し路地に入れば住宅地が立ち並ぶ利便性の高い場所に立地している。
敷地内に大きな市の指定文化樹と古民家を利用した障がい者児童デイサービスが併設され、利用者と子ども達の交流を図っている。
母体であるケイシングループは共生型総合福祉を目指し、子どもからお年よりまでが寄り添う社会の構築を試みている。管理者と職員は行きかう住民に朝夕の挨拶を交わし、その精神が受け繋がれ、今では子ども110番の家の指定やまちかど介護相談所の代行も行い、地域住民と関わりながら接している。
職員は理念に沿った利用者への、愛情を注ぐ寄り沿う支援を心がけ、資格取得にも積極的であり、より良いケアサービスに努めている。
災害訓練も定期的に行っており、利用者や家族、地域からの安全と信望を得たグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体・自施設独自の理念を掲げると同時に地域の相談所の看板も掲げ内外共に実践にスタッフ一同努力している。	玄関と事務所にホーム独自の理念を掲げ、利用者に「愛をほどこし、全ての人に注ぐ」との思いが込められ、心を汲みとる支援となっている。職員は朝礼で唱和し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域のひろば事業を毎月一回行い地域の方々に参加頂き利用者の方々との交流に繋げている。	管理者はケアサポートワーカーの資格を取得し全国初の認知症に関する相談窓口の代行ホームとなり地域に貢献している。近隣や通りの方々への挨拶を心掛け、血圧測定や介護の相談もある。野菜の差し入れも頻繁にあり地域との付き合いを大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域相談所の施設として日々地域の方々より連絡を頂く事も増えてきている状態である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議への参加も他職種の方々に声かけし意見を頂けるようにして、現在マップ作りを進めている。	民生委員、家族代表、行政、老人会会長などの参加で2カ月に1回開催されている。同敷地内の廃屋を児童デイサービスの開設に繋げた経緯もある。管理者は会議の活性化を図り他のグループホームへの会議の参加も打診中である。	病院受診以外の家族からの支援が厳しい現状があり、緊急時の搬送体制の不安など、当ホームが抱える課題を運営推進会議を通して、外部のアドバイスや相談をすることで改善策につながることを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ケアサポートワーカーの取得から行政の方々との交流も頻繁にあり相談もしやすい状態である。	困りごとなどの相談を積極的にすることで、担当者との良好な関係構築が出来ている。ケアマネジャーの確保でも協力を得られており、双方の情報交換もスムーズにできている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関には開閉時ブザー音が鳴るように設置し目配り、気配りにて注意をはらい拘束のない生活に努めている。	玄関の施錠はせずに外出傾向の利用者に対しては、常に見守りや職員の連携で利用者の思いや自由を尊重している。今後は身体拘束の研修で、具体的な行為を明記したマニュアルを作成し、職員間で再確認していく予定である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	姉妹施設等より虐待防止の資料を貰いミーティング等で話し合いをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前成年後見人制度利用の入居者の方にてプライバシーの難しさを学ぶ機会があり、今後も又向き合う事があれば慎重に対応出来るようにする。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に目通し頂き疑問点はないか確認、又しっかり持ち帰り読んで頂き何か疑問点があったらご連絡頂く様にお願いしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時又月初めの請求書送付の際各個人の現状を手紙にて家族に報告し家族会等にてご家族の要望を伺う様にしている。	年2回の家族会や病院受診時、また面会やイベントを利用して聞き取りをするように努めている。認知の進行に伴い受診の相談を受け、当ホームの協力医療機関の専門医の受診を始めた利用者もいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個人面談を行い職員の意見や提案は日常聞かれ反映されている。	職員の意見や要望は個人面談時やその都度聞き取りをしている。行事担当などを決め職員のアイディアや要望を積極的に取り入れている。資格取得支援や勤務体制も充実しており職員は意欲的でのびのび働ける環境である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準は他にあわせるように進められている。 管理者・介護支援専門員の勤務体制について現在話し合いが続いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修を受ける機会を確保し、なるべく多くの研修を受けられる様にしている。 又資格取得にも努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>サポートワーカーの仲間作りにて同業者同士にての勉強会にも参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	不安や要望など話し易い雰囲気を作り、本人の思いを傾聴しながら安心感を確保出来る様努めている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	要望や相談など傾聴しいつでも対応出来る様な環境と関係づくりに努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人と家族からの要望をうかがいながら、これから必要となるサービスについて説明を行い、求めている支援の提供が行える様努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	日常生活においてお互いを思い、一人ひとりの出来る事を大切にし、協力し合いながら良好な関係を築ける様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診や行事に参加いただき、また、一部ではあるが月に数回昼食を一緒に摂る時間を設けていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の制限もなく自由に面会出来ている。来所された方々には知人の方へ伝えていただく様お願いしている。	日中のレクリエーションで趣味の書道をしたり、正月の書初めをする利用者もいる。衣替えで自宅に帰ったり、近隣の大型スーパーで衣服や菓子類の買い物、家族との外食に出かけるなど、馴染みの関係継続の支援である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等への参加を促し、出来る作業を共同作業にて行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	移られた先への情報提供や共有・交換など、退去後にも少しでも役に立つ事で関わりを持てる様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の利用者様の会話、又表情にて思いを察し対応支援に努めている。	会話が困難な利用者に対しては表情や動作から思いを汲みとり、口の体操で話がしやすくなるリハビリも取り入れている。家族からの情報や傾聴で思いや意向の把握に努め、困難な場合は本人本位の支援を心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の面会時は必ず会話させて頂く時間を作り情報収集に努め、又利用者様の会話から得た情報は記録する。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ミーティングにて1人ひとりについてスタッフ全員で話し合い介護支援に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様9名に対しスタッフも9名と言う事もありそれぞれの担当者が家族への連絡も行い把握し、ミーティング等にて意見をだしあっている。	利用者ごとの担当者が決まっており、毎月のミーティング時などに看護師やケアマネを含めて話し合い、それぞれの意見やアイデアを活かして作成されている。家族支援を入れたり、利用者とお昼を一緒にする家族なども組み込まれ、個々に応じ現状に即した介護計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人経過表は勿論の事日誌等にて情報を早急に把握し朝の申し送りにも情報を共有し実践しながら今後の介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	電話連絡等にて家族のその時、その時の状況も配慮し、支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月行われているちいきひろばにて地域の方々と団子作り等を楽しまれている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、家族に無理の無い範囲で受診をお願いしている。定期受診とは別に緊急時は隣接の医院に往診をお願いし、本人に負担の無い様に配慮している	看護師を2名配置しており、月1回は家族によるかかりつけ医の受診になっている。ほとんど、職員も同行し認知症や他の専門医についても職員対応で家族への負担は軽減されている。現状は緊急医療機関との連携に不安はあるものの、直近の病院の往診や受診対応が可能である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護スタッフは、普段の利用者様の状態を把握している為、体調の変化に早期に気づき、看護スタッフに報告、病院受診が、適切に行えている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>最近体調が落ち着いており、入院する事があまりないが、入院となった場合はサマリーを用いて、施設内での状況を病院側へ提供、又面会の際に情報交換をおこなっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した際、家族と今後の方針を話し合い家族の不安の軽減に努めている。</p>	<p>看取りの経験はまだないが、状況変化の都度、本人や家族の意向を確認しながら看取りも考慮している。入居時に説明しており同意書ももらっているが、今後は「重度化した場合の対応に係る指針」のなかに、家族の協力が必要との文言も、もりこむ予定である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急時の心肺蘇生の訓練や、防火訓練を定期的に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難・防火訓練を毎月定期的に行い、自治会や運営推進会議にて地域への協力をお願いしている。	全ての居室は掃き出し口からベランダに避難が出来る造りになっており、消防署からまず「ベランダへ」と誘導の指示を受けている。消火器の使用法や定期的な訓練を実施し、備蓄の充実や保管場所も検討中である。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いに気を配り失礼のない態度で接する。 排泄・更衣・入浴の際は特にプライバシーに配慮している。	職員は会話をする時の声のトーンや入浴、排泄時の羞恥心には特に配慮をし利用者の尊厳を重んじた支援に努めている。個人情報に関する書類も事務所に適切に保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を汲んだレクリエーションや散歩、外出出来る様に機会を設けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	得意な家事の手伝いをお願いして一緒に楽しんで作業している。 好きな番組を楽しんだり催し物に参加したりする。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	離床の際は髪を整え衣服等は選んで頂いている。 入浴準備、更衣時は一緒に準備して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの体調に配慮した食事形態にする(大きさ・固さ)。季節感、好みに合わせたメニューを工夫し、調理時も出来る範囲でお手伝い頂く。	定期的にバイキング様式を取り入れた食事を提供したり、花見や紅葉の時期は弁当を持参して戸外での食事も楽しみとなっている。おせち作り、餅つき、そば打ちなどの行事食作りに生き生きとした表情で取り組む利用者も多く、服薬をこぼむ利用者にはバナナに入れる工夫もみられる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事状態(動作・嚥下・摂取量)を把握しながら個々に合わせた食事内容を考慮し提供している。自己摂取出来る様、自助具等しようしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛け、実施見守り又出来ない方は介助している。義歯状態のチェック、必要に応じて歯科往診して頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックシートを活用し、排泄パターンを把握し、個々に合った排泄への自立に向けた援助を行っている。	排泄チェック表をもとに、職員間での申し送りも徹底されおり、オムツからリハビリパンツになり、日中はトイレ排泄につながった利用者もいる。更なる確かな誘導が出来るように、個々に応じたチェック表の見直しも行う予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表記入し、排泄状態（便秘・下痢）を把握している 便秘時、内服薬、摘便の実施排便コントロールの為、食事・水分・運動・服薬管理を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の希望を取り入れ、入浴時間や設定温度等気を配り入浴している。 又不安の強い方には声掛け、手順を説明しながら援助している。	一日おきの午後からの入浴になっているが、希望に応じ順番や時間帯は柔軟な対応である。 入浴をためらう利用者にはタイミングを見て職員を替えたり、入浴剤も利用者の好みに応じ、入浴が楽しくなるような支援である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	車イスの方が多く、ほとんどの方が午前・午後の休息をとり入れているが、昼夜逆転にならない様個々の状態に合わせて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の内服状況をファイルにしており、変更があった際も、その都度スタッフ全員がわかる様に日誌に記載している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事と一緒に楽しんだり、地域のひろばに参加したりとそれぞれ個々に合った楽しさを提供し、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り外気浴、散歩を実施している。 又春は花見、秋は紅葉狩りと、季節に合わせて、ドライブ、外での食事を行い、四季を味わえる様にしている。	市の指定樹になっている施設内の黒金餅の巨木の下で外気浴を日課にお茶を楽しんでいる。車椅子の利用者もドライブで花見や紅葉を見に出かけたり、近隣散歩も積極的に支援している。買い物時の試食を楽しみにしている利用者もあり、外食など、日常的な外出支援ができています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族より御小遣いという形でお金をお預かりしホームに保管、管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の要望があれば、いつでも自由に連絡が取れる様支援している。又、毎月御家族へ近況等、お手紙にてお知らせしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	座席順を配慮し、利用者同士での混乱を招かない様見守りを行う。又、各空間への誘導は、一人ひとりのタイミングに合わせてつつ、混雑しない様に対応を行っている。 季節を感じて頂ける様に、その時期に合わせた花や写真等を展示している。	ホーム内は明るく木の材質で暖かみを感じられる造りである。対面キッチンからは、調理をしながら利用者の見守りができ、広いリビングには半円の大型ソファがテレビを囲むように置かれ、利用者の憩いの場所になっている。浴室、トイレも清潔であり居心地の良い共用空間である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間の中でも、音楽鑑賞、読書、談話等、思い思いに過ごせる雰囲気作りや時間を大切にしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>衣替えと一緒に、御家族の方に本人が入所前などに着ていた衣服をお持ちいただき入れ替えをしたり、本人の状態が変わる(骨折等)時は家具の移動を行っている。</p>	<p>利用者の介護度に応じた手すり付きの部屋や、2人使用に変更できる対応型の居室もある。野球選手のポスターや趣味の書道を飾るなど、利用者は使いなれた小物に囲まれて、我が家の一室のように居心地よく過せる居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>床材はソフトな材料を使用し衝撃を吸収出来、万が一転倒されても身体に与える衝撃を和らげる事が出来ている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない